

令和4年度 予算提案説明

次に、施政方針に基づきます令和4年度当初予算案について提案説明を申し上げます。

まず、一般会計予算についてでございます。

国におきましては、感染症の克服と経済の好循環の両立を図るため、骨太方針2021に掲げられている主要な施策項目とそれを具体化する成長戦略の実行計画を踏まえ、ポストコロナの持続可能な成長基盤作りに取り組んでいくことが求められています。

本市におきましても、こうした国の動向を踏まえ、令和4年度当初予算を編成いたしております。

まず、一般会計予算の総額は、509億3,972万9千円で、前年度比9億3,372万9千円、1.9%の増となっております。

次に、各種事業を賄う財源でございますが、特定財源は、国庫支出金、県支出金、市債などで、前年度よりも1.9%増の179億948万2千円を見込んでおり、特定財源の構成比は、前年度と変わらず35.2%となっております。

また、地方債依存度につきましては、9.1%と、前年度の10.6%から1.5ポイント減少いたしております。これは、臨時財政対策債などが減少したことによるものでございます。

次に、年度末地方債現在高につきましては、557億2,278万円となり、前年度より、9,286万3千円、0.2%増加するものと見込んでおります。

次に、一般財源でございますが、市税につきましては、前年度比3億4,960万4千円、1.9%増の189億8,125万1千円を見込んでおります。

地方交付税につきましては、前年度よりも5億2,000万円、9.5%増の59億7,000万円を見込んでおります。

市税と地方交付税を合わせて、8億6,960万4千円の増となっておりますが、これらの増加により、地方交付税を補填する財源としての臨時財政対策債は、10億2,500万円の減少となっております。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金7億5,941万8千円、減債基金繰入金4億7,000万円などを計上いたしております。

これらによりまして、一般財源総額は、前年度よりも6億618万円、1.9%増の330億3,024万7千円、構成比は64.8%となっております。

以上が一般会計予算の概要でございます。

次に、特別会計につきましては、渡海船事業、平尾墓園事業、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業及び工業用地造成事業の全6会計、また企業会計につきましては、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業の3会計につきまして、それぞれの事業に要します事業費、事務費について、特別会計で、289億1,560万5千円、企業会計で、116億2,328万8千円を措置いたしております。

以上で令和4年度当初予算の説明を終わります。